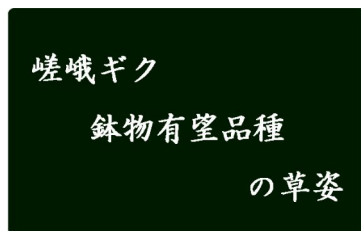


## 嵯峨ギク鉢物仕立て技術の確立に向けて

嵯峨ギクは、京都をイメージする草花として平成2年「京都府の草花」に選ばれ、ブランド花きとして有利販売が可能と考えられる品目です。これまで、コンパクトに仕立てた鉢物は少なく、栽培技術に関する研究もほとんどありませんでした。そこで、挿し穂時期とわい化剤処理について検討したところ、挿し穂時期を8月上旬とし、わい化剤を処理することで、草丈25~30cmとコンパクトな鉢物になることが明らかとなり、9月5日に開催された園芸学会近畿支部会において報告しました。

本年度は、さらに施肥条件や摘心回数について検討し、栽培技術の確立に向けて試験を行っていきます。



園芸学会近畿支部会での報告  
(一部抜粋)



ガラスハウス内で栽培試験中の嵯峨ギク